

令和6年（2024年）9月20日発行



足柄小だより



小田原市立足柄小学校

ホームページ：足柄小学校で検索または、

☎ 34-1314

http://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/swas/index.php?id=ashigara_s

夏休みが終わり、学校が再開して3週間がたちました。夏休み中に大きな事故やけが等の連絡はなく、ほっとすると同時にとてもうれしく思っています。子どもたちは学校生活のリズムを取り戻してきており、10月19日（土）に実施予定の運動会に向けて、練習を始めています。

9月も半ばを過ぎましたが、まだまだ厳しい暑さの日があります。子どもたちが元気に、安全に毎日を過ごすことができるように配慮しながら、授業や様々な活動に取り組んでいきたいと思えます。保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力を、引き続きよろしくお願ひします。

敬意と感謝の気持ちをもって

今夏は、パリでオリンピック・パラリンピックが開催されました。テレビを見ながら（あるいは現地で）、声援を送った方もたくさんいられたのではないかと思います。たくさんの競技に、様々な国や地域の選手たちが参加し、これまでに積み重ねてきた練習の成果を競い合う姿に、見入ることもしばしばでした。競技ですので、必ず順位や勝敗などの結果が出ます。思い描いていた結果に喜ぶ選手や、思いが届かない結果に悔しがり再挑戦を誓う選手などのインタビューを聞く中で気づいたことは、どの選手も、ほとんど例外なく、これまでに関わってきた人々に対する敬意と感謝の気持ちを表していることでした。競うことをとおして互いを高め合ってきた対戦相手やチームメート、指導・助言を受けた監督やコーチ、頑張る姿を見守り励まし続けてきた家族や友人など、選手たちは、自分に関わってきた人たちの支えがあって今日を迎えているのだということ、ひしひしと感じているようでした。その姿は、順位や勝敗に関係なく、とても輝いているように見え、すがすがしい気持ちになりました。

私たちも、オリンピックやパラリンピックの選手たちとは少しちがうかもしれませんが、いろいろな人と関わり、支えたり支えられたりしながら毎日を過ごしています。そのことを忘れることなく、敬意と感謝の気持ちをもって、周りの人と関わるようにしていきたいと思ひました。

『学校に眠るお宝展』に行ってきました

夏休み中に、「学校に眠るお宝展」に行ってきました。夏休み前に、学校でお知らせのチラシを配付していますが小田原市の郷土文化館が企画した催しで、市内の小学校で保管している土器や石器などの資料を集めて展示しています。足柄小学校のものもあります。（4500年前の縄文土器や石器、弥生時代の土器などです。）

「学校に眠るお宝展」は、10月20日（日）まで、小田原市郷土文化館で開催されています。展示されている土器や石器は、学校に戻ってきたら職員玄関前のガラス戸棚等に保管する予定です。

